

「医療提供体制改革の論点案」に
係る意見募集について

各種モニター報告に寄せられた医療提供体制に関する意見の例

※ 厚生労働省、内閣府の行政モニター（厚生労働省、内閣府より公募、依頼。）から報告された内容のうち、医療提供体制関係の一例を紹介しているものであり、このほかにも様々な意見が寄せられている。例示している意見が代表的なもの、あるいは、多く寄せられたものということではない。

※ 各意見は事務局が要約したものである。

I 厚生労働行政モニター報告より

◎ 医者不足をなくす為に

医師が足りず困っているところが、地方の村や町に、ちらほらとあります。医者は人の命を預かる大事な仕事ですし、若い人で、なりたい人はいっぱいいるはずです。田舎の町村は、本当に、医者を求めています。

これから、高齢化社会はますます進展するでしょうし、日本人が健やかな人生を送るためにも、医師不足を何とかしなければいけないと思います。

そこで、全国の医学部に対し、定員を増やしてもらおうよう、厚生労働省に働きかけて頂きたいものです。

田舎の病院では、過労で倒れた医師もいると聞きます。本当に、深刻な医者不足になる前に打つ手は打って欲しいものです。

(H16. 4. 26 秋田県 無職 女性 43 歳)

II 国政モニター報告（内閣府）より

◎ がん専門医を増やして

先日、がん専門医が我が国では 500 人、米国では 2 万人おり、我が国のがん専門医不足がテレビで指摘されていた。21 世紀に入り、がんの早期発見に努めるための PR や集団検診の高まりで健康への関心を持つようになったとはいえ、まだまだ、がんの死亡率は高い。

医療の研究により、がんの予防、あるいは、がんの発症率を抑制するための日常生活の注意点等を取り上げた本も出版され、新聞広告のがんに関する知識に目を通すことがあるが、果たして本当に効果があるのかと疑問を感じることもある。

また、テレビの映像で拝見したある末期患者は、がん専門医のおかげで一命を取り止めていたが、このような患者にとっては、よい医師との巡り合わせが幸せに導いたものと思う。

今後のがん患者の命を救うためにも地方の医療機関におけるがん専門医の数を増やすことに力をいれてほしいものである。患者の多くは、信頼のおける医師の下での適切な対応を強く望むものである。

(H. 16. 2 秋田県 販売・サービス・労務職 女性 50 歳)